科目ナンバリング	U-LAS02 20032 LJ37						
授業科目名 <英訳>	言語比較論II Comparative Language Studies II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　西脇　麻衣子		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	水2	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

現代ドイツ語の主に形態・統語上の諸現象とその歴史的変化について考察する。その際、適宜、英語や他のゲルマン諸語との比較を行う。また、言語類型論的な視点も取り入れる。

[到達目標]

ドイツ語を「語学」ではなく、「言語学」の観点から捉えることができる。
ドイツ語史・ゲルマン語史について理解を深める。
同系統の言語を比較する方法論を学ぶ。

[授業計画と内容]

１．ゲルマン諸語について（概説）
２．ドイツ語の音韻体系とその歴史的変化について
３．ドイツ語の形態論１：名詞類の語形変化
４．ドイツ語の形態論２：強変化・弱変化動詞
５．ドイツ語の形態論３：動詞の接頭辞
６．ドイツ語の統語論１：冠詞
７．ドイツ語の統語論２：格
８．ドイツ語の統語論３：時称
９．ドイツ語の統語論４：受動形
１０．ドイツ語の統語論５：叙法
１１．ドイツ語の統語論６：従属節
１２．ドイツ語の統語論７：語順
１３．ドイツ語の統語論８：否定
１４：ドイツ語の統語論９：不一致（性・数・格・時称など）
１５：フィードバック

授業で扱うテーマとその講義順序は履修者の関心によって変更することがある。

[履修要件]

ドイツ語の初級文法の知識があること。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は授業への参加度（50%）及び学期末レポート（50%）に基づく。

[教科書]

使用しない

言語比較論II(2)へ続く↓↓↓

言語比較論II(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に紹介する文献に目を通し理解を深めること。

[その他（オフィスアワー等）]